

する状況は、国において小学校入学前まで無料化、あるいは所得制限を設けるなどの検討を行っているようだが、今年度中には、結論を得る見込みである。推移を見ながら今後も要望を続けていく。

前野由和議員

大杉保育所の建て替えについては切実な要望書が保護者会より提出されている。喫緊の課題として取り組みよう要請する。

岩崎憲郎町長

要望書を受け取り、現状について直接話も聞いている。保護者会と認識を共有し、今後、議会の意見も伺いながら見直しをつけていきたい。



大杉保育所前



手前の坂道

問 役場庁舎の建て替え検討は 答 緊急避難的対応を検討している

前野由和議員

役場庁舎は震度5強で倒壊する。耐震工事はできないので、選択肢は建て替えしかないと考えているが。

岩崎憲郎町長

震度5強あるいは6で倒壊の危険性が大きいという結果が出ている。耐震をできるかどうかについては、建て替えが必要だと理解している。

前野由和議員

選挙戦では、役場庁舎の耐震対策について争点になったが、噛み合わなかったように思う。いつまでに、どこへ、どのような機能を備えた施設にするのか。先送りすることとは一刻も許されない状況である。検討委員会をつくるなど、議論の積み上げと住民意思の集約を図れ。

岩崎憲郎町長

公共施設の整備基金、条例を提案し、庁舎等の建て替えのため、現在、基金を積んでいる。昨今の熊本の地震、鳥取の地震の被害状況から、災害の際の役場機能の大切さ、特に地震においてはその機能が失われたことによる住民への影響がい

前野由和議員

問 移動手段の拡充を 公立病院への足を確保せよ 答 早急に検討をする

一般質問

乗合タクシーの行き先が、高知赤十字病院周辺となっている。高知医大など通過点に位置しているのに停まってくれない。嶺北地域の病院受診時に、高知医大を紹介されるケースも多いのに何とか



高知医科大学附属病院



ならないか、という利用者の声がある。関係機関へ状況を訴え、路線申請で認可へと働きかけるよう要請する。

岩崎憲郎町長

同様の要望があることは把握しており、実施できるかどうかの検討を始めている。タクシー業者の理解をいただき、陸運局の許可等についても、今後、早急に結論を得るよう検討を進めたい。

問 町内各地の空き家対策を問う 答 持ち主の意向に配慮しながら取り組んでいる

一般質問



小笠原妙子 議員

町内各地の空き家の状況について、空き家の持ち主、管理人等の把握はどこまでできているのか。

岩崎憲郎町長

行政上、課税のための把握、移住促進のための把握など、目的に応じて把握をしている。町内全ての家について完全ではないが、それぞれの事務によって把握をしている。

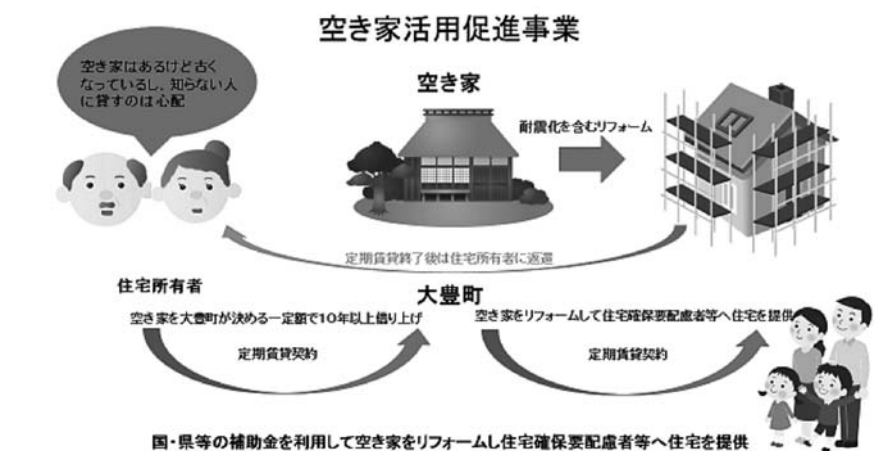
小笠原妙子議員

普段は、空き家であるが、草刈りや柚子の収穫などのため帰省している方もいる。これまで、そのような方に本町で暮ら

してはどうかと、Ｕターンの要請を行ったことはあるのか。Ｕターンなどの移住促進はもちろんであるが、本町に土地家屋を持ちながら町外で暮らしている方々にぜひ帰っていただき、少しでも人口減少が緩和されるよう努力すべきではないか。

岩崎憲郎町長

Ｕターン、Ｕターン等の目的での把握は一定行っており、平成24年度から平成28年度まで、300件ぐらい調査はしている。持ち主の方の意思もあ



一般質問

問 高齢者独居老人の行政サービスを問う 答 サポートしていく

小笠原妙子議員

高齢者の一人暮らしの方が多くいるが、冬場の寒い時期だけでも集合住宅等での生活をする事ができないのか。また、今後においても計画はあるのか、方向性を聞く。

岩崎憲郎町長

現在、高齢者住宅の空き室もある状態であり、



黒石ふれあい住宅



落合ふれあい住宅

新たに高齢者集合住宅を建設する計画は持っていない。

小笠原妙子議員

住み慣れた地域、自宅で生活を望んでいる高齢者がたくさんいるが、介護サービスを受けていない高齢者にもきめ細やかなサポートを要請する。

岩崎憲郎町長

住み慣れたところで暮らすことをサポートしていくということが必要だと考えている。介護・医療を必要とした場合については、介護・医療を必要とした場合にすることができ対応も合わせて必要である。基本的には住み慣れたところで暮らすことを多くの高齢者の方々も希望されているので、そのことをしっかりとサポートしていくということが基本である。